

## 平成 17 年度第 4 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事概要

1. 日時 平成 18 年 2 月 23 日(木) 10:30~12:30

2. 場所 国立情報学研究所 22 階会議室

### 4. 議事概要

#### (1) 学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の追加について

坂内本部長から最先端学術情報基盤(サーバー・サイエンス・インフラストラクチャ、(以下「CSI」とする。))をより一層効果的に推進するため、次の 2 名を学術情報ネットワーク運営・連携本部委員に追加したい旨の提案があり、了承された。

- ・岡崎進(分子科学関係:自然科学研究機構分子科学研究所教授)
- ・青柳睦(グリッド関係:九州大学情報基盤センター)

また、京都大学学術情報メディアセンター長が平成 18 年 4 月に交代するが、現センター長の松山委員がこれまでどおり京都大学情報環境機構長としてネットワークを担当することから、規程の「センター長」を「情報環境機構長」と読み替えて、松山委員の継続を承認した。

#### (2) 平成 18 年度概算要求の内示状況について

坂内本部長から、平成 18 年度概算要求の状況について次の報告があった。

- ・「学術情報流通基盤の整備」予算が全体として 1%の削減となっている。
- ・「大学間連携のための全国共同電子認証基盤構築」予算が新規事項として認められた。この予算の執行については、認証基盤の構築の事業経費も含めて、認証作業部会にて検討をお願いする。
- ・NAREGI プロジェクトについては、次世代スーパーコンピュータプロジェクトの枠組みの中で進めることとなった。

#### (3) ネットワーク作業部会報告

ネットワーク作業部会主査の安達委員から、これまでの活動状況について報告があり、その後それぞれの担当から次のような報告があった。

平成 17 年度整備計画の進捗状況について

事務局から、資料 2-1 に基づき次の報告があった。

- ・国内ネットワークの整備として SINET ノード 1Gbps 化、スーパー-SINET ノードの新設、広域 LAN 接続サービス及び地域 IP 網(B フレッツ)接続サービスについて、予定通り進められている。
- ・国際ネットワークの整備として日本と香港間及び日本とシンガポール間のアジア回線が平成 18 年 1 月 1 日に開通した。
- ・スーパー-SINET ノード機関に対し、「スーパー-SINET の今後の計画について」という通知を出した。この通知文書は、今後、予算事情の厳しい中でネットワーク整備を進めていくこととなるので、理解と協力を要請したものである。

TEIN2 の現況について

NII の松方助教授から、資料 2-2 に基づき TEIN2 の回線開通状況、接続状況及び接

続経路について説明があり、次の質疑等があった。

- ・ インドについては、TEIN2 シンガポール NOC から TransPAC2 が用意する回線を経由して接続される予定である。
- ・ アジア諸国では、APAN や TEIN2 等の NOC までの高帯域な回線を確保することが財政的に難しい状況である。
- ・ 日本国内に国際的な研究情報ネットワーク基盤（ネットワーク、ミドルウェア、コンテンツ）の連携に関する国家的な戦略を立てる組織がない。特にヨーロッパでは、EU本部が戦略的に着実に進めている。そのような役割が、NII の運営・連携本部に求められているのではないか。
- ・ 海外のネットワークをアカデミック組織として利用するためのプロモーションを行う組織が日本には存在していない、今後、日本と海外の大学等での連携が増してくることを考えるとそのための組織化の検討が必要である。

次世代学術情報ネットワーク(SINET3)仕様書(案)について

NII の漆谷客員教授から、資料 2-3 に基づき次世代学術情報ネットワーク(SINET3)仕様書(案)について説明があり、承認された。

- ・ 次世代学術情報ネットワークを SINET 及びスーパーSINET の次のフェーズと位置付けて、SINET3(さいねっとすりー)と称することとした。
- ・ 本仕様書(案)を SINET ホームページ上で公開し、意見を求めることとした。

#### (4) 認証作業部会報告

認証作業部会主査の岡部委員から、資料 3 に基づき、次の活動報告があった。

- ・ 2月15日にUPKIシンポジウムを開催し、大学、研究機関や企業等から400名近くの参加があり、参加者からGPKI,大学入試センター、放送大学等との連携についての意見などが出された。
- ・ 各大学で事情が異なるため、柔軟な対応が必要であり、全てをシステムとしてカバーするのではなく、各大学等の事情によりそれぞれ異なる部分は、切り離して大学全体に共通する部分を模範として開発し、大学に提示及び提供していく方向である。また、松岡委員から現在システム導入を進めている東京工業大学の状況について、紹介があった。

#### (5) グリッド作業部会の設置について

- ・ 安達委員から、資料4に基づきグリッド作業部会の設置について提案があり、種々審議の結果、構成員及び任務並びに今後の進め方等についてさらに検討し、再提案することとなった。

#### (6) CSI 委託事業について

安達委員から、資料5に基づき、次の報告があった。

- ・ 平成17年度CSI委託業務完了報告書の提出依頼が行われた。
- ・ 平成17年度CSI委託事業報告交流会(仮称)の開催を予定している。
- ・ 平成18年度CSI委託事業として、7割程度は最低限確保する予定である。
- ・ 平成18年4月1日から研究活動で必要になる継続雇用の人件費について担保した

形で進める。

(6) その他

- ・ 曾根委員から、NII、NICT、APAN、MAFFIN、WIDE の日本の研究ネットワーク関係組織が一堂に会し、広帯域ネットワーク利用に関するワークショップを開催したことの報告があり、NII の支援に対して謝意が表明された。また、このような会合の継続が強く求められていることから、今後もNII の支援に期待したいとの発言があった。
- ・ 岡部東京大学情報基盤センター長が、3月に退職されることの紹介があった。

- 以上 -